

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第41週の発生動向

□ トピックス

・新型コロナウイルス感染症 (新型インフルエンザ等感染症) の報告が4例あり、2021年の累積報告数は5,260例となった。

□ 全数報告の感染症 (41週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核1例。3類感染症：報告なし。

4類感染症：つつが虫病1例、日本紅斑熱4例。5類感染症：百日咳1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	延岡	70歳代	男	無症状病原体保有者	なし
4類	つつが虫病	都城	70歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹
			70歳代	男	—	発熱、頭痛、発疹、DIC、肝機能異常
	日本紅斑熱	宮崎市	80歳代	男	—	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常
			80歳代	女	—	発熱、刺し口、発疹、肝機能異常
5類	百日咳	宮崎市	40歳代	女	—	持続する咳、夜間の咳き込み

□ 新型インフルエンザ等感染症 (41週までに新たに届出のあったもの)

疾患名	居住地保健所	年齢群	性別	症状等
新型コロナウイルス感染症	日向	10歳未満	女	発熱、嗅覚・味覚障害、下痢、鼻汁
		30歳代	男	発熱、咳以外の急性呼吸器症状、全身倦怠感、頭痛、関節痛
		30歳代	女	発熱、咳、全身倦怠感、頭痛
		70歳代	女	発熱、咳

□ 定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は590人(定点当たり16.9)で、前週比118%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及び手足口病で、減少した主な疾患はRSウイルス感染症であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

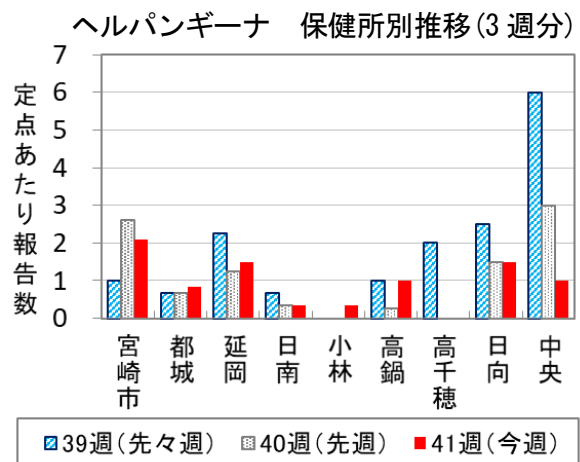
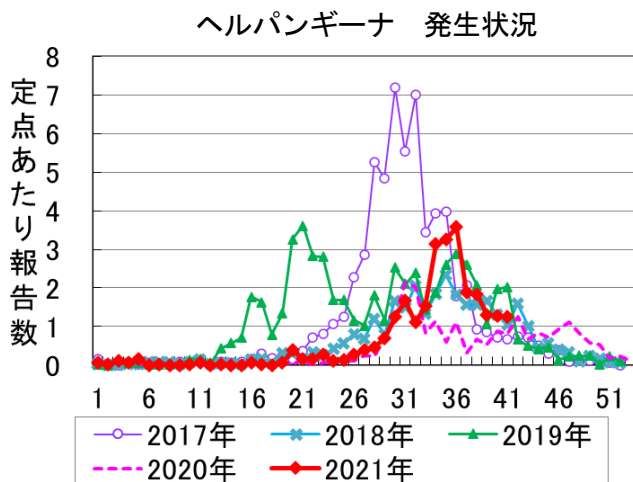
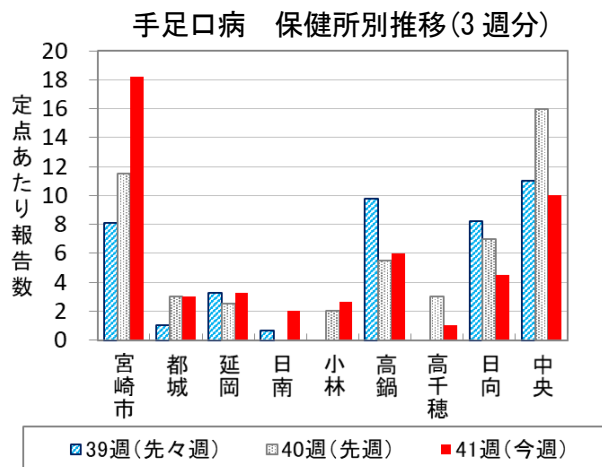
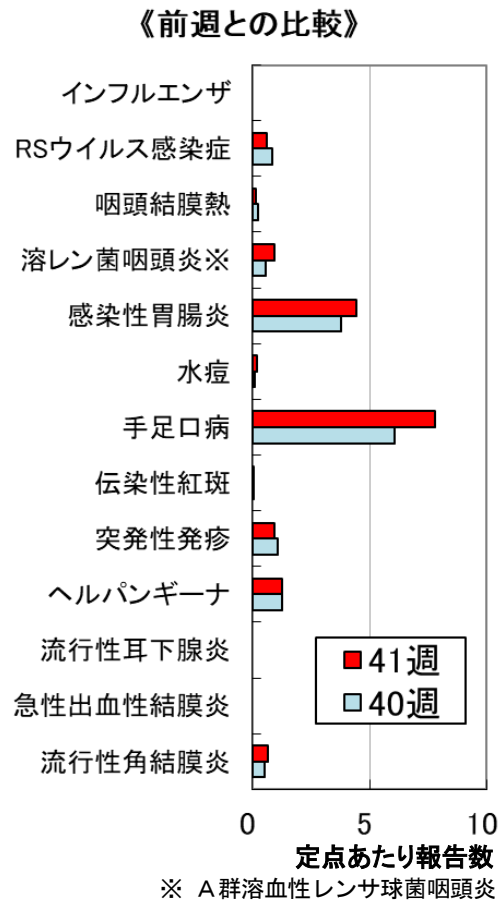
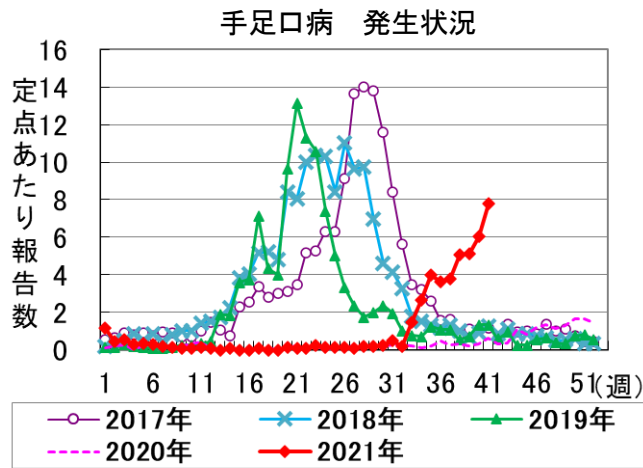
【手足口病】

報告数は280人(7.8)で、前週比128%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.5)の約5.3倍であった。宮崎市(18.2)、中央(10.0)、高鍋(6.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月から2歳が全体の約9割を占めた。

【ヘルパンギーナ】

報告数は45人(1.3)で、前週比98%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(1.1)の約1.1倍であった。宮崎市(2.1)、延岡、日向(1.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は6ヵ月から2歳が全体の約8割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均



★基幹定点からの報告★ なし。

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	手足口病(18.2)
都城	なし
延岡	なし
日南	なし
小林	なし
高鍋	手足口病(6.0)
高千穂	なし
日向	なし
中央	手足口病(10.0)

※流行警報レベル開始基準値※
・手足口病(5)

🇯🇵 全国 2021 年第 40 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	235 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	47 例				
4類感染症	回帰熱	1 例	重症熱性血小板減少症候群	1 例	つつが虫病	2 例
	日本紅斑熱	27 例	日本脳炎	1 例	レジオネラ症	38 例
	レプトスピラ症	4 例				
5類感染症	アメーバ赤痢	3 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	18 例
	急性脳炎	6 例	クリプトスポリジウム症	1 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	11 例	後天性免疫不全症候群	14 例	ジアルジア症	2 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	8 例	水痘（入院例）	1 例	梅毒	113 例
	播種性クリプトコックス症	2 例	破傷風	2 例	百日咳	9 例

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 111%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患は手足口病とヘルパンギーナで、減少した主な疾患はRSウイルス感染症、咽頭結膜熱及び水痘であった。

手足口病の報告数は4,826人(1.5)で前週比134%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(1.2)の約1.2倍であった。大分県(14.1)、福岡県(11.6)、佐賀県(8.7)からの報告が多く、年齢群別では1歳から2歳が全体の約7割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は1,926人(0.61)で前週比117%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.58)の約1.1倍であった。大分県(2.9)、鳥取県(2.8)、島根県(2.7)からの報告が多く、年齢群別では1歳から3歳が全体の約8割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週（計15週）の平均

月報告対象疾患の発生動向 <2021年9月>

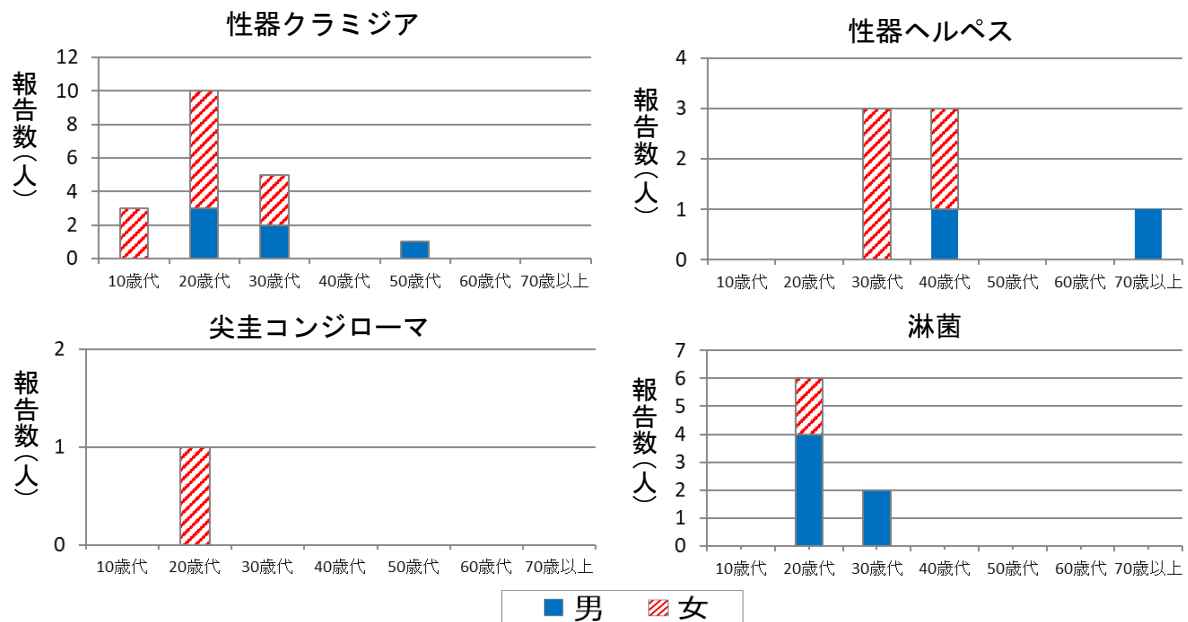
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は35人(2.7)で、前月比92%と減少した。また、昨年9月(2.9)の約0.9倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数19人(1.5)で、前月の約1.4倍、昨年9月の約0.8倍であった。20歳代が全体の約半数を占めた。(男性6人・女性13人)
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数7人(0.54)で、前月の約0.4倍、昨年9月の約1.2倍であった。(男性2人・女性5人)
- 尖圭コンジローマ：報告数1人(0.08)で、昨年9月の約0.3倍であった。(前月報告なし)(女性1人)
- 淋菌感染症：報告数8人(0.62)で前月及び昨年9月の約1.3倍であった。(男性6人・女性2人)



【全国】

定点医療機関からの報告総数は4,577人(4.7)で、前月比98%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,548人(2.6)で前月比99%、性器ヘルペスウイルス感染症738人(0.75)で前月比99%、尖圭コンジローマ452人(0.46)で前月比92%、淋菌感染症839人(0.85)で前月比94%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は14人(2.0)で、前月比140%と増加した。また、昨年9月(3.3)の61%であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数13人(1.9)で、前月の約1.4倍、昨年9月の約0.6倍であった。70歳以上が全体の約半数を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告なし。
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告数1人(0.14)で、前月と同率であった。(昨年9月報告なし)

【全国】

定点医療機関からの報告総数は1,265(2.7)で、前月比95%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,189人(2.5)で前月比96%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症55人(0.12)で前月比71%、薬剤耐性緑膿菌感染症21人(0.04)で前月比100%であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2021年 第41週(10月11日～10月17日)

疾病名		第40週	第41週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	30	22	13	3						1	5
	定点当り	0.83	0.61	1.30	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.25	5.00
咽頭結膜熱	報告数	8	6	1	3				1		1	
	定点当り	0.22	0.17	0.10	0.50	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	20	33	4	6	2	17		2		1	1
	定点当り	0.56	0.92	0.40	1.00	0.50	5.67	0.00	0.50	0.00	0.25	1.00
感染性胃腸炎	報告数	137	159	27	66	1	5	24	7	8	17	4
	定点当り	3.81	4.42	2.70	11.00	0.25	1.67	8.00	1.75	8.00	4.25	4.00
水痘	報告数	3	7	4		1	2					
	定点当り	0.08	0.19	0.40	0.00	0.25	0.67	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	218	280	182	18	13	6	8	24	1	18	10
	定点当り	6.06	7.78	18.20	3.00	3.25	2.00	2.67	6.00	1.00	4.50	10.00
伝染性紅斑	報告数	1	1		1							
	定点当り	0.03	0.03	0.00	0.17	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	38	33	9	9	8	3	1	2		1	
	定点当り	1.06	0.92	0.90	1.50	2.00	1.00	0.33	0.50	0.00	0.25	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	46	45	21	5	6	1	1	4		6	1
	定点当り	1.28	1.25	2.10	0.83	1.50	0.33	0.33	1.00	0.00	1.50	1.00
流行性耳下腺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	3	4	2	2							
	定点当り	0.50	0.67	0.67	1.00	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ 肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2021年第1週～41週)

2類感染症	結核	104例(1)		
	3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	19例	
4類感染症	E型肝炎	4例	重症熱性血小板減少症候群	13例
	日本紅斑熱	17例(4)	レジオネラ症	8例
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	3例
	クリプトスポリジウム症	2例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
	後天性免疫不全症候群	5例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4例
	水痘(入院例)	4例	梅毒	68例
	破傷風	4例	百日咳	2例(1)
新型インフルエンザ 等感染症	新型コロナウイルス感染症	5260例(4)		

()内は今週届出分、再掲